

第5学年3組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成30年12月5日(水) 5校時(13:40~14:25) 5年3組教室

2. 議題 「冬休み前 みんなが“いやだ下校!”と思えるような集会をしよう」

学級目標

いやだ下校

- ㊦ 一生けん命何でも挑戦するクラス
- ㊧ やるときはやり、きりかえできるクラス
- ㊨ だれにでもやさしく思いやりのあるクラス
- ㊩ 元気でにこにこ明るいクラス
- ㊪ 高学年として、リードできるクラス
- ㊫ う〜んと成長するために、一人ひとりが目標をもてるクラス

3. 議題について

(1) 児童の実態

学年当初から、自分たちでやってみようと思ったことは失敗をおそれず、まずはやってみることの大切さを、そして、みんなで高め合うこと大切さを伝えてきた。時には失敗や周囲の目を気にするあまり自信がもてない姿も見られたので、何かをやってみて困ったことがある時、友達どうして話し合っても解決ができない時は相談にのること、一人一人が何事にも安心して取り組めるようにすることを心がけてきた。最初は相談にのることも多かったが、少しずつ自分たちで考えて動いたり解決したりできるようになってきている。クラス目標は、4月当初に一人一人がどのようなクラスにしたいかを考え、伝えあった。それらの共通点をまとめ、6つの目標をたて「いやだ下校」というクラス目標につなげた。これらの目標を日々意識して毎日の学校生活をつくっていくことで、下校するのがいやなくらいよいクラスにしていきたい、という児童の思いが込められている。

係活動では、自分たちで工夫して活動しようと前向きに取り組む児童が多い。本を書いたり、工作したりすることが好きで、活動自体を楽しんでいる。アンケートをとってクラスの声を聞こうとしたり、工作したものを教室に置いたりすることで、みんなが楽しめるようにしたいという意識も見られる。そして、帰りの会でクラスにお知らせをしていくことなどを通して、よりよい活動を目指している。また、今年初めての委員会活動でも、6年生を手本としながら、一生懸命に活動しようとする姿が見られる。時には、他のこととの優先順位をつけることや活動の中でうまくいかないことに困ることもあり、その都度支援してきた。教師も児童も一人一人の前向きな気持ちを応援し、励ましていく場面をつくっていくことで少しずつ力にしている。

話し合い活動は、6月の自然教室に向けての話し合い、その他の議題での話し合いを経験してきた。自然教室のグループ決めでは、友達の気持ちや意見を尊重しながら、目標やテーマに沿って自分たちで納得いくグループを決めることができた。目標やテーマにこだわりながら、自分たちが大切にしなければならぬことと、こだわらずに短い時間で決めるところと軽重をつけるということもできるようになった。例えば7月、体験入学の児童のお別れ会を、普段あまり前に出ない児童何人かが提案することがあった。何をするか考える、という時にみんなが「お別れになる〇〇さんがしたい遊びをしよう」という意見で一致した。そして、ふだんあまりしないだるまさんが転んだを行った。その際には誰もが笑顔で、楽しい経験となったようである。そして、以降の集会の提案にもつながっていた。

今回が輪番制では4回目の学級会となる。第1回目の「5-3会議」では、「5-3のマスコットキャラクターをつくろう」という議題で話し合った。マスコットキャラクターでクラスらしさを出したいという提案理由から、どのようなキャラクターにしていくか、どのようにつくっていくかを話し合った。その際、クラス目標からどのようなキャラクターにしていくか、意見を出し合うという話し合いの方法をとった。「男女が納得いくものにする」「笑っていてなごやかに」「やさしそうな」など、実際にできた時のことを考えた意見が集まった。そこで決まったことを生かしてデザインを募集して「五野さん」

というキャラクターが決まった。そして、そのデザインをもとにみんなが参加してつくりあげた。

第2回目の話し合いは、「5-3もあと半年！男女もっと仲よくなれるような集会をしよう」という議題であった。クラスには、集会をしたいという思いをもっている児童が多い。提案カードにも「〇〇をしたい」と具体的な遊びを書く傾向がある。それらの提案に対して、プロジェクトチーム（司会グループ）が集会でやることを話し合う際に意見として言うように伝えていた。話し合いでは、柱1の「集会でやること」はドロケイにすぐに決まり、柱2の「男女もっと仲よくなれるようにするための工夫」をじっくりと話し合うことができた。提案者の思いや話し合いのめあてを意識することで、何を大切にするかプロジェクトチーム（司会グループ）ははじめ、みんなが決めようという思いをもって話し合いに臨んでいたように思う。また、ふり返りでは、スムーズに話し合いが進んだことを実感したり、普段あまり発言しない児童が発言できたことに達成感を感じたり、その頑張りや他の児童が認めたりすることができた。

思いはあっても、意見をもって発言するという点に関しては、まだ個人差がある。一人一人が話し合いにすすんで参加し、様々な考え方があの中でお互いの意見を尊重しながら歩みよることで合意していくことができるようにしていきたい。

(2) 議題選定の理由

「残りも4ヶ月、冬休み前もっとも〜と5-3のみんなと仲を深め〜するために、みんなが“いやだ下校！”と思えるような楽しい集会をしたい」という思いを提案者がもったことから、今回の話し合いの議題が決まった。クラス目標「いやだ下校」①一生けん命何でも挑戦するクラス ②やる時はやり、きりかえできるクラス ③だれにでもやさしく思いやりのあるクラス ④元気でここにこ明るいクラス ⑤高学年として、リードできるクラス ⑥う〜んと成長するために、一人ひとりが目標をもてるクラス を意識した集会である。事前に学級会ノートに一人一人が集会で行うことを考える。そこから、提案者の思いから何が大切なのかを考えるとともに、「③④⑤」を意識してみんなが“いやだ下校！”と思えるような集会の内容を話し合い、決めよう」という今回の話し合いのめあてを意識して意見を出せるようにしたい。そして、「比べ合う」段階では、めあてに沿って話し合いを進めながら、よりよいものに決めていけるように司会グループを支援し、話し合いの途中でも適切に助言していきたいと考えている。

4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級や学校の生活の充実と向上にかかわる問題に関心をもち、他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの意義や学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。

5. めざす子どもの姿に迫るための手立て →もうすこし項目を増やす

互いのよさを生かし合い、一人一人が輝く特別活動

～「なすことによって学ぶ」共に歩む姿をめざして～

高学年のめざす子どもの姿

- 自分の思いや考えをもち、自分の言葉で伝える子【自分に自信をもてる姿】
- 仲間を大切に思い、共に支え合おうとする子【仲間と共に歩もうとする姿】
- 自ら考え判断し、行動に移せる子【自分たちの生活は自分たちでつくっていくという姿】

【自分の思いや考えをもち、自分の言葉で伝える子】（自分）

○一人一人が自分の考えをもつためのワークシート（学級会ノート）

「みんなが“いやだ下校！”と思えるような集会をしよう」ということを意識できるようにするとともに、事前に一人一人が自分の意見をもてるようなワークシートを用意する。また、記入することが難しい児童には、対話を通して思いを確認し、記入できるようにする。一人一人ノートに書いた意見をプロジェクトチーム（司会グループ）が把握しておくことで、話し合いの展開に生かせるようにしていく。

○一人一人の考えの把握と励まし

事前に書いた意見を把握し、どの考えも認め励ましていくことで、児童が自信をもって伝えることができるようにする。また、さらに深まりそうなものがあれば、より説得力をもたせられるように声かけをしていく。

○話し合いのめあての確認

話し合いに参加する際に全員ができる限り同じゴールを目指して話し合えるようにするために、めあてを事前、話し合いの冒頭で確認する。

【仲間を大切に思い、共に支え合おうとする子】（仲間）

○お互いを認め合える雰囲気普段からつくっていく

友達を思う気持ちが、集団としての意識につながってきているように思う。普段から一人一人の高まりを認め、励ましていくことで、お互いを認め合えるような雰囲気につなげていく。

○提案者の思い受け止める時間の十分な確保

何が問題点として提案され、みんなで考えなければならないのか、提案者の思いを一人一人が受け止められるような時間を設定することで、共に考えようというクラスの雰囲気や個人の意見につながるようにする。

【自ら考え判断し、行動に移せる子】（生活）

○プロジェクトチーム（司会グループ）との打ち合わせの時間

ワークシート（学級会ノート）に記入されたそれぞれの意見をプロジェクトチーム（司会グループ）とともに見ながら、どのように話し合いを進めていけばよいか計画をたてられるようにする。

○教師の出番の見極め

できる限り自分たちの力で解決していけるように見守ることを心がける。児童の話し合いの流れをつかみながら、めあてからそれした場合など、必要なタイミングで助言していく。

○一人一人が活躍できる役割分担

学級会で話し合うことにとどまらず、事後の活動でも一人一人が動けるようにしていきたい。そのために、集会での役割を一人一人がもてるように分担する。

6. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価（☆）と支援（○）
11月初旬	・議題ボックスに「冬休み前に集会をしたい」という思いが寄せられる。	○児童からの声を提案につなげていく。 ☆学級生活に関心をもち、学級をよりよくしようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
11月12日(月)朝の時間	・プロジェクトチーム（司会グループ）が、議題ポストから議題を集め、教師と共に話し合いの議題を選ぶ。	○今回の議題が「冬休み前 みんなが“いやだ下校！”と思えるような集会をしよう」となることを提案者と共に決める。 ☆寄せられた議題の中から、議題を選ぼうとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

11月19日(月) 中休み	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトチームと提案者で話合いのめあてを決める。 プロジェクトチームの中で役割分担をする。 司会1人 副司会1人 黒板記録2人 ノート記録1人 	<p>○今回の学級会で何を大切に話し合うことが必要か考えられるようにする。</p> <p>○それぞれの役割を確認し、話合いの流れをイメージできるようにする。</p> <p>☆話合いに向けて、計画的に準備しようとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p>
11月20日(火) 中休み	<ul style="list-style-type: none"> 議題、提案理由、めあて、話し合うこと、決まっていることなどを書く。 	<p>○学級全体に事前に伝えることでクラスが見通しをもって話合いに臨めるようにする。</p>
11月20日(火) 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> 議題、話し合うこと、提案理由(思い)、めあて、決まっていることを共有し、どんなことができそうか考えておくようにクラス全体に伝える。 	<p>○提案者が思いを自分の言葉で伝えられるよう、対話を通して事前に確認しておく。</p> <p>○話し合うこと、提案者の思いを共有することを通して、めあてを意識できるようにする。</p> <p>☆議題について関心をもっている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)</p>
11月23日(金) 朝の時間	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を学級会ノートに記入する。 [柱①] 集会で行うこと(㊦㊧) [柱②] 集会で行う㊦を確認しあえること 	<p>○一人一人が話合いのめあてを意識した自分の意見を書けるよう助言する。</p> <p>○一人一人の意見に目を通し、積極的な発言につながるような支援をする。</p> <p>☆提案理由やめあてに合った自分の考えを記入している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p>
11月26日(月) 中休み	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトチームの児童を集め、話合いの流れの確認をしておく。 出された意見を短冊に書く。 	<p>○学級会ノートの意見を見ながら、話合いの流れを計画できるようにする。</p> <p>☆教師とともに、話合いの流れを考えている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)</p> <p>○一人一人の意見を短冊に書いておくことで事前にみんなが見られるようにし、話合いが円滑に進むようにする。</p>
11月29日(木) 朝の時間	<ul style="list-style-type: none"> [柱①] 集会で行うこと(㊦㊧) [柱②] 集会で行う㊦を確認しあえること について話し合う。 	<p>☆司会グループとして司会や記録などの役割を果たしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>☆友達の思いを認めながら、よりよい解決方法を考え、発言している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p>
11月30日(金) 朝の時間	<ul style="list-style-type: none"> 決まった集会で行うこと(㊦㊧)の「いやだ下校」ルール(ルールの工夫)について学級会ノートに記入する。 	<p>○話合いで決まったものを掲示しておき、話し合うことに一人一人が向き合えるようにする。</p> <p>○一人一人が話合いのめあてを意識した自分の意見を書けるよう助言する。</p> <p>○一人一人の意見に目を通し、積極的な発言につながるような支援をする。</p> <p>☆提案理由やめあてに合った自分の考えを記入している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p>

(2) 本時の活動

① ねらい

クラス目標の「いやだ下校」を意識し、集会で行うことについての工夫を話し合い、決める。

② 活動計画

児童の活動	支援 (○) と評価 (☆)
<p>1. はじめの言葉</p> <p>2. プロジェクトチーム (司会グループ) の紹介</p> <p>3. 議題の確認 「冬休み前 みんなが “いやだ下校!” と思えるような集会をしよう」</p> <p>4. 提案理由の確認 「残りも4ヶ月、冬休み前ももっとも～っと5-3のみんなと仲を深め～るために、みんなが “いやだ下校!” と思えるような楽しい集会をしたいから」</p> <p>5. めあての確認 「◎◎を意識して、みんなが “いやだ下校” と思えるような絵心あそびの工夫を話し合い、決めよう」</p> <p>6. 決まっていることの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月20日 (木) に1時間、教室で行う ・集会でやること (◎◎) → 絵心あそび 集会でやる◎を確認しあえること →自分の成長、5-3で過ごした今までで一番おもしろかったこと、これからの目標、夢を語り合う <p>7. 話し合い [柱①] 絵心あそびのルール<small>の工夫</small> (“いやだ下校” ルール ◎◎)</p> <p>くらべ合う</p> <p>まとめる (決める)</p>	<p>○前回の話し合いの提案理由についても想起できるようにする。</p> <p>○どの児童も提案者の思いをしっかりと受け止められるように、様子を見て必要なら補足する。</p> <p>○本時は「くらべ合う」からスタートする。 ○プロジェクトチームが困った時のヒントとなるように、台本やそれぞれの役割の心得をすぐに見ることができるようにしておく。 ○進め方などで困っている時には、近くで助言する。 ○話し合いのめあてからそれた場合は、めあてを再度全体に確認するようプロジェクトチームに声をかける。</p> <p>○できるだけ自分たちで決定できるように見守り、話し合いが行きづまってしまった時には助言する。 ☆司会グループとして司会や記録などの役割を果たしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○友達の思いを認めながら、めあてに沿って歩みよっていくことができるよう、必要に応じて声をかける。 ☆友達の思いを認めながら、よりよい解決方法を考え、発言している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p>

<p>8. 決まったことの確認 ・柱①で決まったこと</p> <p>9. ふり返り ・カードの記入 ・話合いの感想を発表する。</p> <p>10. 先生の話</p> <p>11. おわりの言葉</p>	<p>○話合いを進めたプロジェクトチーム、一人一人の話合いでの発言などを認め、次への意欲となるようにする。また、改善点についても伝えていく。</p> <p>○学級目標を意識して、集会で行うことの工夫について一人一人が考えて話し合い、決めることができたことに対して価値付けし、冬休み明けの学校生活につながるようにする。</p>
---	--

③ 板書計画

第4回 5-3 会議

まとめる←くらべ合う

話し合いのめあて

「②③を意識して、みんなが“いやだ下校”と思えるような絵心あそびの工夫を話し合い、決めよう」

話し合いのめあて 絵心あそびのルールの工夫（いやだ下校ルール②③）

- 絵が苦手な人でも安心できるように、絵のうまさでは判定しない
- グループで戦えば、協力できるし笑顔になる
- お題をみんながわかるものにする
- 伝言ゲームみたいにリレーで絵を完成させる
- クラスのマスコットキャラクター「五野さん」をお題にする
- 5-3の思い出をお題にする

議題

「冬休み前 みんなが“いやだ下校!”と思えるような集会をしよう」

提案理由

「残りも4ヶ月、冬休み前ももっともつとら5-3のみんなと仲を深めるとともに、みんなが“いやだ下校!”と思えるような楽しい集会をしたいから」

決まったこと

ふりかえり

先生の話

マスコット
キャラクター
(五野さん)



○十二月二十日(木) 一時間、教室で行う

○集会で行うこと(②③) ↓絵心あそび

○集会で行う③を確認しあえること

↓自分の成長、5-3で過ごしてきたことで一番おもしかったこと、これからの目標、夢を語り合う

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	支援(○)と評価(☆)
12月6日(木) 朝の時間	・集会の係分担をする	○必要な役割を考えて分担できるようにする。
12月7日(木) 中休み～	・集会の準備をする。	○協力して準備が進められるように声をかける。 ☆係の仕事を協力して進めている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
12月20日(木) 学級活動	・冬休み前「いやだ下校」 集会	○めあてを改めて提示し、意識できるようにする。 ○ふり返りの時間を設定し、めあてにせまれたかどうか確認し、次につなげる。 ☆何のための集会なのか理解しながら活動している。 (集団の一員としての思考・判断・実践) ☆活動に対する自分の取り組みや、学級全体としての取り組みを振り返り、みんなで集会をつくる意義を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)